

鼎談

# 次代への提言

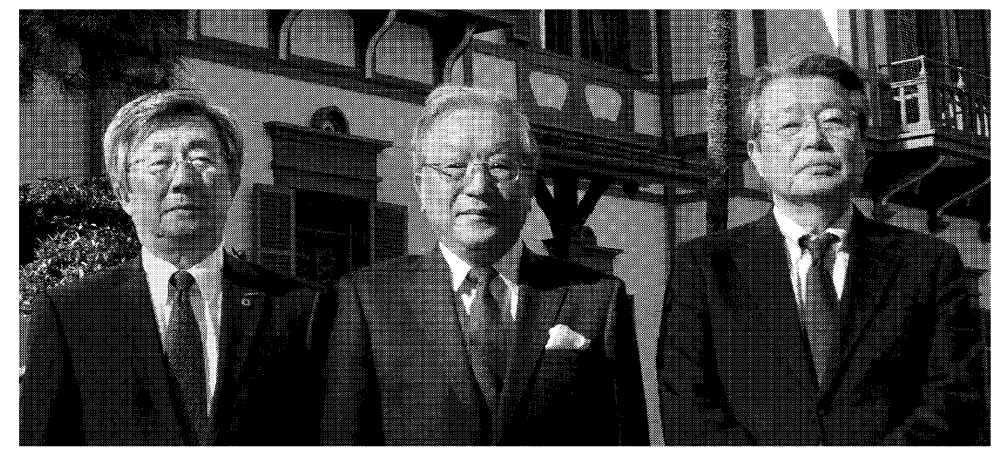
## — 理系人材の育成とグローバル化 —

世界最大手の半導体メーカー・台湾積体回路製造 (TSMC) が熊本県で量産を始めた。国内メーカー各社を含めた半導体サプライチェーン (供給網) の集積地として九州の存在感が高まる中、地域の発展には専門人材の確保とイノベーション (技術革新) が不可欠となる。次代を担う人材育成と経済発展について、地域の歴史的背景も振り返りながら、安川電機、九州大学、西日本シティ銀行のトップが「理系人材の育成とグローバル化」をテーマに語り合った。  
(司会=日刊工業新聞社 西部支社長 武田則秋)

九州大学 総長  
**石橋 達朗 氏**

西日本シティ銀行 会長  
**谷川 浩道 氏**

安川電機 会長  
**小笠原 浩 氏**



(左から) 小笠原、谷川、石橋の3氏



西日本シティ銀行 会長  
**谷川 浩道 氏**

たにがわ・ひろみち  
76年(昭51)東大法卒、同年大蔵省(現財務省)入省。93年外務省在米大使館参事官。その後、財務省横浜税関長、大臣官房審議官などを歴任。11年西日本シティ銀行専務、13年副頭取、14年頭取。21年会長、福岡商工会議所会頭。福岡県出身、71歳。

### イノベーションを功利に デジタル活用は業務変革の要

社会課題が複雑化しており、課題解決に資するイノベーションが求められます。まず、谷川会長から問題意識について提起していただきます。

小笠原 産業革命以降、200年ほどの発展は史上まれに見る急速なものです。イノベーションは人類の発展に寄与してきました。今ではスマートフォンであらゆる情報やサービスが容易かつ安価に享受されます。いずれもデジタル活用が要となり、行内では仕事の質そのものを高めることへの意気込みで、変革に取り組みました。その結果、紙ベースの仕事が大幅になくなり、18年から24年3月までに1200人分の業務量を減らすことができました。

もう一つの側面である取引先支援として、店舗の受取にも取り組んでいます。お客さまにタッチパネルを操作していただき、お客さま自身の手間の削減と業務効率化を両立させています。

谷川 銀行の業務変革には、銀行自身の変革と、顧客の変革支援という二つの側面があります。

石橋 「VISION 2030」の中で、DXを重点項目の一つとして掲げています。医療分野は多くのビッグデータを内包するほか、教育にも研究にも全分野でデータは不可欠と考えて重視しています。

DX教育では24年10月に、情報系学部に限らず全学生を対象とした情報系の副専攻プログラムを開発しました。本格的には4月からスタートします。このプログラムではデジタル人材を養成する基本的な教育を提供します。また生成人工知能(AI)などの新技術をうまく活用して、自ら学び、新しい価値を創造する姿勢を育むことを目指します。そこで生成AIの活用に関する基本姿勢や、学生、教員向けの詳細な注意点を取りまとめた公表しています。

—DXで安川電機は先駆的存在です—  
小笠原 B2B(対企業)ビジネスの企業として経営資源の見える化を進めようという、収益や費用といった勘定科目をグローバルで統一しました。経営データが日々見える、デジタル化支援を進めていますが、中小企業では資金繰りなどの問題を理由に、なかなか進みません。そんな業種の一つが教育関係との印象があります。

石橋 大学でも業務のDX化を推進しています。これにより教員が研究に専念する時間を確保し、教育・研究の質の向上につながることを期待します。

### 世界で基準統一 財務をDX 小笠原氏 多様性育み 技術革新と発明を 石橋氏

「Kyushu University」が「VISION 2030」を策定して、新たな社会・経済システムを創出するイノベーション・エコシステムの中心核となることを目標に掲げています。その達成には、理想とする未来社会からバックキャストイングして、社会課題を解決する必要があります。脱炭素「医療・健康」「環境・食料」の三つを定めて研究に注力しています。ここに「半導体」などの新たな領域を加え、イノベーションの創出を加速させています。

—業種を問わず業務変革は必須です。デジタル化やデジタル変革(DX)にどう対応しますか—  
小笠原 難しい課題ですが、安川電機は石炭に始まり、重厚長大産業から何十年もかけて事業をシフトしてきました。

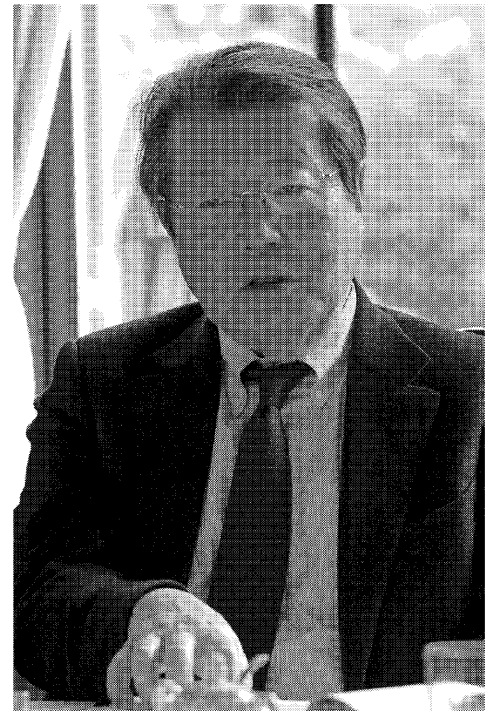


# 銀行は、人だ。

人の「ココロ」の数だけ、  
幸せの「コタエ」が  
違う世界で、  
銀行は、  
いくつの人生と  
つながることが  
できるんだって。



# 時を超えて社会と



九州大学 総長 石橋 達朗氏

いしばし・たつろう 75年(昭50)九大医卒、同年九大医学部眼科学教室入局。01年大学院医学研究科眼科学分野教授、13年副学長を兼務。20年九大総長。日本眼科学会理事長、福岡県病院協会会長なども務めた。長崎県出身、74歳。

## 社会に開いた研究と育成

### 「修養」の精神を総合知に

九州・福岡は歴史的にアジアの玄関口として発展してきました。人の交流とともに、知識と技術が交わり、発展する場所でした。三者は創業・創設以来、長い歴史を生き抜くなかで、時代にどのように対応してきたのかを伺います。

九州・福岡は歴史的にアジアの玄関口として発展してきました。人の交流とともに、知識と技術が交わり、発展する場所でした。三者は創業・創設以来、長い歴史を生き抜くなかで、時代にどのように対応してきたのかを伺います。

## 鼎談 次代への提言

の基盤となる重要な要素になります。谷川 安川電機の創業発起人である安川敬一郎氏が開校した現在の九州工業大学(明治

## 往時の栄華伝える歴史的施設 西日本工業倶楽部



鼎談は北九州市戸畑区にある指定重要文化財「旧松本邸」の「洋館」を会場に実施した。安川敬一郎の次男で、現在、西日本工業倶楽部がレストランや結婚式場として運営している。松本健次郎の自宅兼迎賓館として1912年(明45)に完成。東京駅などで知られる辰野金吾の設計によるアル・ヌーボの様式の瀟洒な造りで、建設当時の姿をほぼそ

## 歴史・文化に誇り 発展の基礎に 技術立社、世界一のモノづくり

谷川氏 小笠原氏

企業と九州大学をつなぐ OPACK 九州脱炭素化研究会(会員募集) 九州大学の研究成果を基に、会員企業のニーズに応えるワークショップを年6回開催。脱炭素に関する事業化や課題解決・社会実装を目指す産学連携のプラットフォームです。 OPACKメールマガジン発信中 当機構では、毎月1~2回程度、九州大学に関連する研究や各種セミナーのほか、九大学研都市エリアで開催される催事などをご案内するメールマガジンを発信しています。

Biz-Nova ビズノヴァ 業界トレンド、市場動向、注目技術、企業の一押し製品がわかる モノづくりを中心にコア、ニッチな分野まで業種別、分野別に幅広く網羅

Driving social change with integrative knowledge VISION 2030 九州大学 KYUSHU UNIVERSITY 総合知で社会変革を牽引する大学へ



